



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 上場取引所 東
 コード番号 9218 URL https://mh-tec.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 刀禰 真之介
 問合せ先責任者(役職名) 取締役コーポレート本部部長 (氏名) 樋口 晴将 TEL 03(6277)6595
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,747	20.3	107	△16.2	94	△20.7	54	△22.1
2025年12月期第1四半期	1,452	67.1	128	—	118	—	69	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 54百万円(△22.1%) 2025年12月期第1四半期 69百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年12月期第1四半期	5.21		5.14	
2025年12月期第1四半期	6.76		6.62	

(注) 2025年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,802		1,525		22.9	
2025年12月期	5,368		1,566		25.5	

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,328百万円 2025年12月期 1,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2025年12月期	—		0.00		10.00	
2026年12月期	—		—		—	
2026年12月期(予想)	—		0.00		10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	4,084	35.1	267	△3.6	233	△8.1	103	△33.5	9.93	
通期	9,252	43.8	700	17.0	528	20.6	286	12.5	27.44	

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

3. 2025年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、対前期増減率については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた後の前期数値と比較して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) インクルード株式会社、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	10,507,300株	2025年12月期	10,447,300株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	64株	2025年12月期	64株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	10,457,903株	2025年12月期1Q	10,344,347株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

当社の決算補足説明資料につきましては、2026年5月15日(金)にTDnet及び当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

2024年12月18日に行われた株式会社みらい産業医事務所との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、前連結会計年度の比較分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、技術革新への期待からAI（人工知能）開発投資が加速するなど、デジタル分野を中心とした設備投資には積極的な動きも見られました。一方インバウンド需要においては、訪日中国人観光客の減少に伴い、関連する消費活動に一部停滞が見られました。さらに、中東情勢の緊迫化を背景としたエネルギー価格の高騰や原材料費の上昇が諸物価を押し上げ、雇用情勢や資金繰りの悪化を背景に中小企業の倒産件数が増加するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下において、当社グループの顧客層への影響につきましては、メンタルヘルスソリューション事業の顧客の一部に事業場の統廃合や従業員数の減少による解約もありましたが、現時点では限定的なものに留まっております。

こうした状況の中、当社グループでは、2026年3月31日付でリワーク事業（職場復帰支援）を展開するインクルード株式会社の株式を100%取得し、連結子会社化いたしました。今回の取得により、当社グループはメンタル不調の予防から、早期発見、そして復職支援までを一気通貫でサポートできる体制を確立しました。これにより、顧客企業へのさらなる価値提供と、社会課題である「メンタル不調者の職場復帰」への貢献を加速させてまいります。

新たな子会社の取得及び各事業の進捗を踏まえて、2024年12月期に策定した、2027年12月期において連結売上高100億円、営業利益20-25億円を達成目標とする「中期経営計画MHT100/20-25」について、修正を行いました。まず目標達成の時期を1年順延して2028年12月期とし、連結売上高目標を100億円から150億円へと引き上げました。また、営業利益の目標については、昨年業績予想を下方修正したことを踏まえ、着実な達成を目指すため旧中期経営計画の下限の20億円と設定しました。今回の目標値は、既存の2つの成長エンジンによる内部成長のみをベースとしており、今後発生する可能性のある、企業買収等による事業拡大については考慮しておりません。

当第1四半期連結累計期間においては、株主優待制度創設による個人株主急増に伴う諸費用が増加しました。また、一時的経費としてインクルード株式会社の取得に係る諸手数料を計上しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,747,385千円(前年同期比20.3%増)、営業利益107,668千円(前年同期比16.2%減)、経常利益94,107千円(前年同期比20.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54,471千円(前年同期比22.1%減)となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

a. メンタルヘルスソリューション事業

メンタルヘルスソリューション事業では、産業医及び保健師等による役務提供サービスと労働者の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS」をパッケージ化し、「産業医クラウド」の名称で提供しております。

当第1四半期連結累計期間におけるメンタルヘルスソリューション事業においては、「産業医クラウド」のサービス内容のブラッシュアップを実施しております。また、新規顧客獲得のための、顧客サービス体制の強化、大手企業向けコンサルティング提案営業の推進、既存顧客へのサービス追加による増額提案活動なども引き続き行ってまいりました。

グループ内子会社との連携については、株式会社Avenirと株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所との間で営業活動の相互支援、新規事業開発等の相乗効果が進んでおります。2024年12月に子会社化した株式会社みらい産業医事務所も、株式会社Avenirに管理業務を集約し業務の効率化が進んでおります。また、株式会社ヘルスケアDXのメンタルクリニック運営支援サービスについては、業務運営が安定化し、支援先の拡大により収益基盤としての重要性が増しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高822,537千円(前年同期比16.2%増)、セグメント利益238,794千円(前年同期比17.9%増)となりました。

b. メディカルワークシフト事業

当第1四半期連結累計期間におけるメディカルワークシフト事業においては、当社グループに参加したことに伴う企業運営方法の統合が進みました。管理部門のデジタル化推進による効率化に加え、派遣スタッフの定着を目的とした人事評価制度の構築、他社との差別化を図るための派遣スタッフのレベルアップ研修等の新たな施策に取り組みました。また、営業エリアを拡大するため、新たに福岡支店を開設いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高906,124千円（前年同期比27.6%増）、セグメント利益は57,101千円（前年同期比14.8%減）となりました。

c. その他事業

その他事業において、メディカルキャリア支援事業では、前連結会計年度に引き続き、産業保健事業との連携に力を入れました。また、デジタルマーケティング事業では前連結会計年度に引き続き、受注制作に関して既存顧客の保守案件を安定的に受注する一方、グループ企業向けのマーケティングに注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高18,723千円（前年同期比45.8%減）、セグメント損失は6,354千円（前年同期はセグメント利益3,380千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ434,064千円増加し、5,802,297千円となりました。主な増加要因は、インクルード株式会社の子会社化に伴い、のれんが270,503千円増加の1,988,072千円となったこと、及び事業拡大により売掛金が前連結会計年度末と比較して256,996千円増加の1,108,777千円となったことによるものです。一方主な減少要因としては、現金及び預金が前連結会計年度末と比較して359,577千円減少し1,132,474千円となったことが挙げられます。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ474,941千円増加し、4,276,620千円となりました。主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金がそれぞれ70,795千円、383,051千円増加し、578,930千円、2,493,853千円となったこと、未払金が80,147千円増加の484,726千円となったこと、インクルード株式会社の子会社化に際し、資産除去債務を33,668千円計上したことによるものです。

一方主な減少要因としては、未払法人税等が86,433千円減少し、49,053千円になったこと、未払消費税等が27,758千円減少の113,409千円になったこと、及び預り金が17,518千円減少し9,339千円となったことです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ40,877千円減少し、1,525,676千円となりました。これは主に、ストックオプションの行使に伴い、資本金が4,500千円増加の559,269千円、資本剰余金が4,500千円増加の550,349千円となった一方、利益剰余金が50,001千円減少し218,552千円になったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年3月31日に公表した「2026年12月期業績予想に関するお知らせ」から変更はございません。詳細につきましては、同日に開示しております「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」をご参照ください。

当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,492,051	1,132,474
売掛金	851,781	1,108,777
仕掛品	67	19
貯蔵品	3,724	5,059
未収入金	224	14,868
前払費用	40,189	72,640
その他	20,780	133,765
貸倒引当金	△6,940	△6,923
流動資産合計	2,401,879	2,460,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,865	205,341
減価償却累計額	△14,724	△41,774
建物及び構築物(純額)	106,141	163,567
車両運搬具	—	559
減価償却累計額	—	△559
車両運搬具(純額)	—	0
工具、器具及び備品	24,173	54,730
減価償却累計額	△14,320	△30,787
工具、器具及び備品(純額)	9,853	23,943
有形固定資産合計	115,994	187,510
無形固定資産		
のれん	1,717,568	1,988,072
顧客関連資産	691,791	681,060
ソフトウェア	73,620	94,739
ソフトウェア仮勘定	57,786	46,390
無形固定資産合計	2,540,767	2,810,262
投資その他の資産		
投資有価証券	58,026	58,026
出資金	131	131
長期前払費用	9,480	11,612
長期貸付金	131,230	125,575
差入保証金	63,548	83,519
繰延税金資産	47,173	64,977
投資その他の資産合計	309,591	343,842
固定資産合計	2,966,353	3,341,615
資産合計	5,368,233	5,802,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,157	148,115
1年内返済予定の長期借入金	508,135	578,930
未払金	404,579	484,726
未払法人税等	135,487	49,053
未払消費税等	141,167	113,409
契約負債	15,802	32,917
預り金	26,857	9,339
賞与引当金	—	28,056
ポイント引当金	2,458	3,320
株主優待引当金	119,083	110,610
流動負債合計	1,500,728	1,558,478
固定負債		
長期借入金	2,110,802	2,493,853
資産除去債務	—	33,668
繰延税金負債	190,148	190,620
固定負債合計	2,300,950	2,718,141
負債合計	3,801,679	4,276,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,769	559,269
資本剰余金	545,849	550,349
利益剰余金	268,554	218,552
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,369,094	1,328,093
新株予約権	197,459	197,583
純資産合計	1,566,553	1,525,676
負債純資産合計	5,368,233	5,802,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,452,535	1,747,385
売上原価	938,047	1,196,510
売上総利益	514,488	550,875
販売費及び一般管理費	386,015	443,206
営業利益	128,473	107,668
営業外収益		
受取利息	464	2,390
受取配当金	5	—
受取和解金	—	5,000
雑収入	4	33
営業外収益合計	474	7,423
営業外費用		
支払利息	10,299	13,048
新株予約権発行費	8	2,017
支払手数料	—	5,900
雑損失	5	18
営業外費用合計	10,312	20,984
経常利益	118,635	94,107
特別利益		
新株予約権戻入益	1,002	5
特別利益合計	1,002	5
特別損失		
固定資産除却損	138	164
特別損失合計	138	164
税金等調整前四半期純利益	119,498	93,947
法人税、住民税及び事業税	44,053	34,814
法人税等調整額	5,484	4,661
法人税等合計	49,538	39,476
四半期純利益	69,960	54,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,960	54,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	69,960	54,471
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	69,960	54,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,960	54,471
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額、及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	9,724千円	10,370千円
のれんの償却額	23,736	23,736
顧客関連資産償却額	10,700	10,700

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事業	メディカル ワークシフト 事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	707,751	710,242	34,542	1,452,535	—	1,452,535
外部顧客への売上高	707,751	710,242	34,542	1,452,535	—	1,452,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	350	—	10,974	11,324	△11,324	—
計	708,101	710,242	45,516	1,463,860	△11,324	1,452,535
セグメント利益	202,490	67,058	3,380	272,929	△144,455	128,473

(注) 1. セグメント利益の調整額△144,455千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第1四半期連結会計期間より当社グループ内の経営管理区分の見直しに伴い、従来「メディカルキャリア支援事業」、「デジタルマーケティング事業」としていた報告セグメントを「その他」に統合しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メンタルヘル スソリューション事業	メディカル ワークシフト 事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	822,537	906,124	18,723	1,747,385	—	1,747,385
外部顧客への売上高	822,537	906,124	18,723	1,747,385	—	1,747,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	550	—	16,277	16,827	△16,827	—
計	823,087	906,124	35,000	1,764,212	△16,827	1,747,385
セグメント利益又は損失 (△)	238,794	57,101	△6,354	289,541	△181,872	107,668

- (注) 1. セグメント利益の調整額△181,872千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、インクルード株式会社の全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。これにより「メンタルヘルスソリューション事業」において、のれんが294,239千円発生しております。

なお、のれんの金額は当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。